

**2021年度 後学期**  
**文部科学省 職業実践力育成プログラム(BP)認定**  
**「保育・子育て支援ラーニングプログラム」シラバス**  
**(お茶大 ECCELL 社会人プログラム)**

**【後学期】**

基礎科目：からだ・表現ワークショップ A/B

シラバスに関する問い合わせ先 ECCELL事務局 nyuyoji-reply@cc.ocha.ac.jp

日程：A：2022年2月20日（9:30～12:30）

B：2022年2月27日（9:30～12:30）

「からだ・表現ワークショップ」は全2回、Zoomによるオンライン授業で行いますが、  
A、Bだけの受講もできます。

※2020年度前学期以降にBP登録し、履修証明書取得を考えている方は、両方とも受講し  
てください（BP基礎科目:6時間）。

進行：浜口 順子（お茶の水女子大学 教授）

**主題と目標**

「絵本に、いつもと違う感覚で出会ってみよう」を目的に、理論編と実践編に分けて開講します。

**教科書・参考図書**

適宜レジュメや資料を配布します。

**授業計画**

【からだ・表現ワークショップA】理論編：「バリアフリー絵本について」

講師：攪上 久子 先生（女子美術大学非常勤講師・

日本国際児童図書評議会 世界のバリアフリー児童図書展実行委員長）

【からだ・表現ワークショップB】実践編：「絵本の読みあいワーク」

講師：村中 李衣 先生（ノートルダム清心女子大学教授）

**学生へのメッセージ**

○2月20日講師：攪上久子先生より

「絵本のよろこびはすべての子どもたちのもの。

絵本を読んだり、読んでもらうことに、障害（バリア）がある子どもたちにその障害（バリア）を超えて楽しめる絵本を教えてくださいました。

また絵本とどう向き合うかで、その絵本のよろこびも変わることも知りました。

受講生の皆さんと、その体験をシェアできたらうれしいです。」

○2月27日講師：村中李衣先生より

「毎日を過ごしていて、なにかをしているときにふっと思い出すと切なくなる子ども時代のこと、ありませんか？

例えば、私だけ、ランドセルの色がみんなと違ってそれがいやだったなあ、とか、

はいつと元気よく手をあげたら、隣の席のこに、フッと笑われてはりきってるね、と言われたとか。

そういうとるに足らないエピソードと、なんとなくその話を思い出すと手に取りたくなる絵本、直接内容が繋がらなくていいから、自分のそんなちいさな思い出の隣に置いてみたい絵本を一冊持って授業に参加してください。

えー、そんなの思いつかないという人は、エピソードと関係なく、こころに大事な絵本を一冊用意してください。」